



「山形のぶどうといえば「デラウェア」。お盆には欠かせない果実です。

人と人の力 地域の力 東北の未来に

村山総合支庁ニュース

—Murasou News—

第174号 平成28年8月号

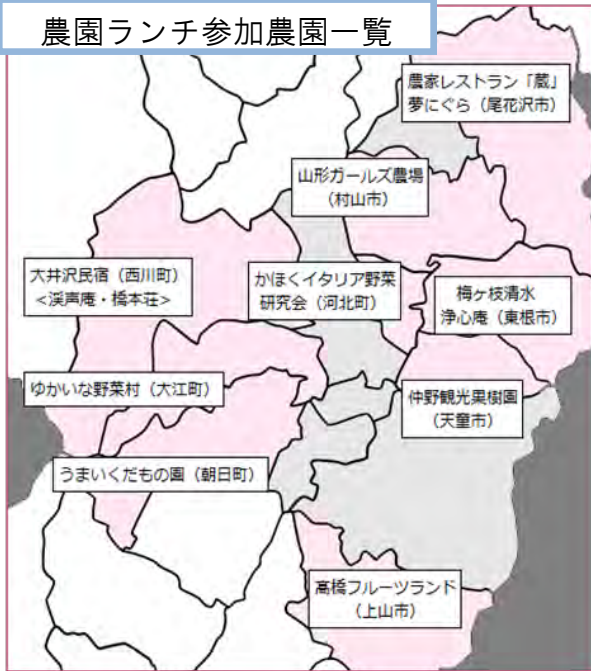
山形県村山総合支庁

お知らせ

週末は山形で農園ランチ



農園ランチ参加農園一覧



「農園で美味しいものを取って、食べて、心も体も美しく！」

毎週土・日、祝日に農園で新鮮な野菜や果物を収穫し、農園内や近くのカフェやレストランで調理してランチを楽しむ週末企画「週末は山形で農園ランチ」。好評につき今年も農園数も期間もスケールアップして開催されます！

参加農園は左地図の11農園。今年新たに

- 夢にぐら ●農家レストラン「蔵」(尾花沢市)
- 大井沢民宿(西川町) ●仲野観光果樹園(天童市)
- 高橋フルーツランド(上山市)

の5施設が加わりました。全施設のご予約は東根市観光物産協会(0237-41-1200)で一括して行っています。各実施日前日の午後3時まで予約できますので、ご家族やご友人を誘ってぜひご参加ください。

なお、農園ごとに実施日や実施内容、料金が異なります。詳しいスケジュール

については、村山総合支庁の各庁舎、管内市町、道の駅等に配布しているチラシ等でご確認いただけるほか、県の観光ホームページ「やまがたへの旅」にも掲載しております。平日にたまった疲れを、自然の恵みにふれる体験を通してリフレッシュしませんか？

(地域産業経済課 観光振興室 Tel023-621-8441)



薬物乱用防止「6.26ヤング街頭キャンペーン」を行いました

薬物乱用を撲滅するため、「ダメ。ゼッタイ。」普及運動及び国連支援募金運動を各都道府県で実施しています。

本県では、毎年、運動期間中に高校生のヤングボランティアの皆さんや関係団体の方々と一緒に「薬物乱用防止6.26ヤング街頭キャンペーン」を実施しています。今年も、6月25日に山形市のイオンモール山形南にて薬物乱用防止の呼びかけや募金活動、薬物の見本の展示などを行いました。

ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

(保健企画課医薬事室 Tel023-627-1248)

募金活動

13,178円の募金が集まりました。



高校生等ボランティアの皆さん

知事と語ろう 市町村ミーティング in 天童 (H28. 6. 23)



今年度第1回目の市町村ミーティングを、天童市で「笑顔 にぎわい しあわせ実感 健康都市を目指して」というテーマの基に開催しました。山本市長はじめ市民約200名が参加し、養蜂と蜜源植物の将来、選挙権年齢の引き下げ、アスリートの育成、道路整備の促進、三世同居の推進、人口減少社会への対応などに関する意見・要望について、直接市民の皆様と意見交換を行いました。

in かみのやま (H28. 6. 28)

もっけだのんも参加！

横戸市長はじめ約320名の市民が参加し、「また来なくなるまち ずっと居たいまちの実現」というテーマで開催しました。ヘルスケアビジネスへの支援、上山市の魅力と上山市に期待すること、鳥獣被害対策、蔵王坊平アスリートヴィレッジの活性化のための支援、山形県の観光の積極的なPR、住宅建設のための土地の利用、空き家対策の取組みなどに関する意見・要望について、直接市民の皆様と意見交換を行いました。

(総務課 023-621-8106)



知事のほのぼの訪問

天童市、上山市の市町村ミーティングと同日に各施設を訪れ、県民と話を交わしながらふれ合いました。

天童市子育て未来館げんキッズ

天童市立蔵増公民館

蔵王ウッディファーム



(総務課 023-621-8106)

村山総合支庁連携支援サポートチーム第1回研究会を開催しました



今般の「総合支庁見直し」により、総合支庁が担う地域振興の役割を地域における市町村支援に重点化し、地域課題の解決に向けたサポート機能を強化することとされたところです。村山総合支庁においては、総合支庁全庁体制の「村山総合支庁連携支援サポートチーム」を本年4月に設置し、管内市町における地域課題等への支援を行っています。

7月6日、山形市が中核市への移行準備と併せて行っている連携中枢都市圏形成に向けた検討の取組みを支援するため、村山管内の市町担当職員を対象に第1回研究会を開催しました。研究会では、市町村間の広域連携制度の現状と今後の方向性や先行事例等について、専修大学法学部の鈴木潔准教授から講演いただいた後、広域連携をめぐる課題等について意見交換を行いました。

有識者との研究会をはじめ、今後も連携支援サポートチームの活動を展開していきます。

(総務課 連携支援室 TEL023-621-8353)

シリーズ ～むらやまの若人(わこうど)たち～Vol.46

～ 自然を生かして 地域を活性化！～ 大江町山里交流館・やまさあーべ館長 **佐々木 隆馬さん**

かんじきをはいてトレッキング



「自然観察体験などのエコツーリズムで町を活性化したい」と語る佐々木さん
 問合せ先：TEL0237-64-2507

夏空が広がる7月上旬、大江町の中心部から20分ほど柳川温泉方面へ車を走らせ、元小学校を再利用した「山里交流館・やまさあーべ」を訪ねた。

館長の佐々木さんは横浜市出身。エコツーリズムで地域振興に寄与したいという夢を抱きながら、埼玉県自然保護団体で環境教育に携わっていた折、新規就農イベントで大江町の団体から、町内で計画されている廃校利活用の構想を紹介されたという。町と佐々木さん双方の想いが一致して、2015年1月「地域おこし協力隊」として大江町に移住。着任早々、地元を愛する「さわらび会」の方々の絶大なる協力のもと準備を進め、2015年4月に「山里交流館・やまさあーべ」を開館した。

この1年、宿泊型の体験施設として動植物の観察や川遊び、かんじきトレッキングなどいろいろなプログラムを利用者に提供してきた。宿泊客や体験プログラムの参加者は予想を上回る数だが、運営していくためにはリピーターの獲得が重要、と佐々木さんは現状に満足しない。そこにある地域資源を経済的に価値づけ、保全・再生し、観光に生かすことで地域を活性化させるというエコツーリズムの理念は、時間のかかる壮大な事業である。

2年目は挑戦の年。まずは、自分自身ももっとこの地区の自然を学び、多くの人々が来たくくなるような体験型プログラムを開発したい、そして、地域活性化のために地元の人々や関係機関とじっくり思いを語り共有化していく努力を重ねていきたいと決意を新たにす佐々木さん。夢の実現に向けて一歩

ずつ前進しようとする姿に、この地を全国、全世界へ向けて発信していこうとする強い覚悟が伺え、頼もしく感じた。

(子ども家庭支援課 023-627-1153)

● 村山地域森づくり揭示版 ●

「山形県民の森 フォトコンテスト」の開催

今年度も、県民の森エリア内の森林や湖沼、人々の様子などの写真を募集しています。豪華賞品・賞金を準備していますので奮って応募下さい。

▼撮影対象：平成27年9月～平成28年9月に撮影されたもので自作・未発表のものに限ります。

※人物撮影については、撮影許可を得たもの。

▼表彰：最優秀賞1点(賞状・賞金3万円)

：優秀賞(賞状・賞金1万円)など 表彰全20点

▼応募締切：平成28年9月30日

▼応募先：〒994-0361 山辺町大字畑谷1933-42

山形県民の森森林学習展示館内 原稿

電話 023-666-2116 FAX 023-666-2124

※詳しくは『山形県民の森』で検索して下さい。

(森林整備課 TEL023-621-8248)



平成27年度最優秀賞「早春の朝」

村山産業高校の生徒が田んぼで測量実習



平成28年6月29日(水)に、村山産業高校農業環境科の3年生が村山市の西郷名取地区で、ほ場整備を実施する前の田んぼとため池の測量を行いました。

この測量実習は、農業農村整備事業に対する理解の促進と技術者の育成を目的として、平成21年から実施しているものです。

当日は、校舎内の測量とは違う実践的な作業に、真剣な表情で取り組んでいました。今後は、この測量結果を基に整備計画図の作成実習を行う予定です。

(農村計画課 023-621-8159)

親子で学んでみませんか？ 親子動物愛護教室

夏休み期間中に山形動物指導センターにおいて小学5、6年生とその保護者を対象に動物愛護（命の大切さ）やペットの正しい飼い方・ルールについて講習会を行います。

日 時：8月3日（水）午後2時～午後3時
8月10日（水）午後2時～午後3時
場 所：山形動物指導センター
（天童市石鳥居一丁目3-21）

（生活衛生課
乳肉衛生管理担当
Tel.023-627-1187）



9月は食肉衛生月間です！

牛肉、豚肉、鶏肉は、食中毒を起こす細菌が付いていることがあり、特に抵抗力の弱い乳幼児、妊婦や高齢者は少量の菌でも食中毒になりやすく、症状も重くなる可能性があります。家庭で焼肉をする際は、次のポイントを守り、食中毒を防ぎましょう！



- ・生肉をつかんだ箸などで、焼けた肉をつかまないこと
- ・生肉を扱った調理器具は清潔に保つこと
- ・生肉を触ったら、手をよく洗うこと
- ・調理する際は中心部まで十分に加熱すること
- ・食中毒の原因となる細菌は加熱（75℃、1分以上）すると死滅します。

（生活衛生課 Tel. 023-627-1187、
023-627-1254）

山形県のご当地キャラクター紹介コーナー ～毎号紹介していきます！～

山形県おもてなし課長【きてけろくん】

わかりやすく親しみやすい、山形県のカタチ「人の顔」をモチーフに、山形を訪れる人、山形に住んでいる人の「ほのぼのとした姿」をキャラクターにしました。

さくらんぼのブローチの付いた麦わら帽子をかぶり、「ペロリン」マークの付いた「おいしい山形」がぎっしり詰まった旅行バッグを持って、山形の旅を楽しんでいます。

平成25年5月22日に山形県知事より「山形県おもてなし係長」に委嘱され、平成26年12月3日には「山形県おもてなし課長（みならい）」、平成27年6月1日には「山形県おもてなし課長」へ昇任しました。



「全国豊かな海づくり大会～やまがた～」 大会キャラクター 【もっけだのん】

プロフィール

- お父さん…「きてけろくん」
- お母さん…「いくちゃん」（「きてけろくん」と一緒に山形をPRしているお姉さん）
- 性 格…元気で活発、好奇心旺盛
- ・海づくり大会らしく、大漁旗柄の法被を着ている。

今が旬！

「全国豊かな海づくり大会～やまがた～」で山形県（庄内地域）にお越しいただく方々への歓迎の気持ちや、大会開催に協力していただくすべての方々へ感謝の気持ちを込め、全力で大会のPRに頑張っていくさげ、よろしくの～！



あとかき

いよいよ夏本番！山形の夏は暑いですが、花火や夏祭り、そしてスイカなどなど、山形らしい夏を満喫したいですね。

■発行元■
村山総合支庁総務企画部
総務課総合相談担当
Tel. 023-621-8106
Fax.023-624-3056

村山総合支庁ニュースは、山形県のホームページからも ご覧いただけます。

<http://www.pref.yamagata.jp/ou/sogoshicho/murayama/301001/murayamanews.html>

